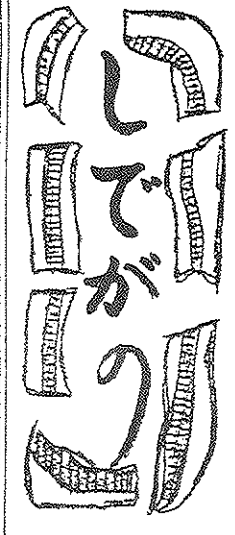


夏休みを迎えて

子供たちにとって、学校生活の中で一番楽しいものは、修学旅行は別として夏休み冬休み春休みであろう。特に長い夏休みについては、その中でも最高のものと考えられている。

「なぜ夏休みは楽しいか。」子供たちの単純な考え方の中に、「規則がらみの窮屈な学校生活を離れて」「自由に、のびのびと、わがまゝ勝手に過せる」という安易な考え方が、その中心となつて

自主的によりよく育てよう



してがの通信
第67号
羽津小 P・T・A
編集発行
発行所 羽津小学校

教頭 古市 祐治

いるであろうし、現実にもその様な生活を送る子供たちが、非常に多いのではないだろうか。特に現在のように、子供の欲求のまゝに、まるではれ物にでもさわるような目で見、考え、少しでも勉強してくれば良いとする家庭の少くない現状を見れば、そのような子供が多く生れることは当然であろう。

ここに更めて「夏休みの意義」を理解していただき、長い夏休みを有意義に過ごしていただきたいものである。夏休みは、暑い中で学習できない、また効果のあがらない学校生活を開放し、家庭において「自主的」によりよく育てようとするのがねらいである。ふだんの目まぐるしい生活の中で、心身の疲労を解消し、健康増進をはかるためにも有意義であり、そのために発達段階や個人差に応じ

適切な指導をすることが大切なことです。そこに平素の学校生活では得られない有意義な経験や知識見聞を広め、豊かな情操が育成される良い機会となるものです。

次に生活指導に必要と思われることをあげましたのでよろしくご協力下さい。

一、きまり正しい生活を
。お子さんとよく相談の上、むりのない計画日程を立てる。
。日程計画に基づく、約束を守り節度ある生活をさせる。
。児童会や子供会等の申し合わせなど、自分たちの定めたるまりをきちんと守る。

二、学習にとりくむ姿勢
。可能な学習課題をきめて学習させる。学習時間も余り欲ばらず、時間を設定しておく。
。平常学校で出来ない自然の観察、物の製作、調査研究などをこの機会を利用して行なう。出来るだけ涼しいうちに学習する。

三、健康増進に心がける
。学校プール、霞プールには進んで参加し、身体をきたえる。
。保健衛生に気をつけ、無理のない生活をする。
。長期治療を要するものは、この機会にしておく。

四、交通安全、非行防止に
。道路の安全歩行、自転車正しい乗り方に注意し事故を未然に防ぐ。
。危険箇所(赤い標柱)では遊ばない。又、危険な遊びはしない。
。外出には、行先、目的、帰宅時間等を必ず告げさせる。

以上、気の付いたことを申しあげましたが、とかく気の緩む長い夏休みでありますので、御家庭におかれましても、夏休みの意義と在り方を充分理解されて、子供と共に九月に入って、本当の意味の「楽しかったなあ」と心に残るものがある様に、御家族皆で話し合いご指導下さる様お願い致します。

次

夏休みを迎えて……………1

がんばっていきます一年生……………2

修学旅行の思い出……………4

専門部だより……………7

給食試食会を終えて……………8

料理教室……………9

課題図書紹介……………11

はじめて子供を入学させて

子供が入学し、これまでの家庭生活と違った新しい生活にはいろいろのお話を聞くことから、遊びにいたるまで、いろいろ経験豊富になりました。

家庭での子供の態度や話の中にも「今日はね、こんな字をかいた」とか子供が報告するおしゃべりの中にもとても関心があります。

がんばっています
一年生

初めての子供を入学させて
希望と不安の親の気持ちに
スポットを当ててみました。

さらいがあり少々反省しています。この話し合いの中で、子供がどんな新しい大きなことを学んでいるのか？ということが察せられるようではとします。先生につけていただいた赤丸を見ながら、授業中友達はどう答ををし、自分ほど

う思ったかとか、聞きたいことはたくさんあります。幼稚園時代と違って、集団登校する時間も随分早くなり、忘れものがないかどうか、朝とても気がかりです。「おはよう」と朝の挨拶を交わすや否や「ぐずぐずしないで」「早くしなさい」が、口ぐせです。

「おやすみなさい」と言うまでに、どんなことをどんな順序でするのか、大体子供と約束してはいますが「行ってきます」と、元気に出かけてくると、ほっとします。(忘れ物にひき帰ってくるど、ドキッとします)



一学期終える頃には、子も母も堂々とした？一年生でありたいものです。

児童の安全を願う

一年学級委員 大橋 一昭
私の家の前の道路はスクールゾーンで、午前七時三十分から午前八時三十分までは小学生登校のため一方通行になっています。

私の出勤時刻は八時、ちょうど児童達の通学時刻と重なり、昨年までは長男がいつも私を見送る際児童達に「お兄ちゃん、いってらっしゃい」と声をかけると、「バイバイ」「あっ、健ちゃんだ」と顔見知りになっていました。

それもきのうのこのよう、この四月新一年生になりこの光景も見られなくなりました。今では、八時になると一目さんに背のカバンを左右にゆさぶり元気がいっぱいかけていきます。

いつも後姿をみて、交通事故の無事故を祈るのは父兄全員の気持ちです。毎朝町角に交代で父兄が黄色の旗を持って児童の安全を守っています。

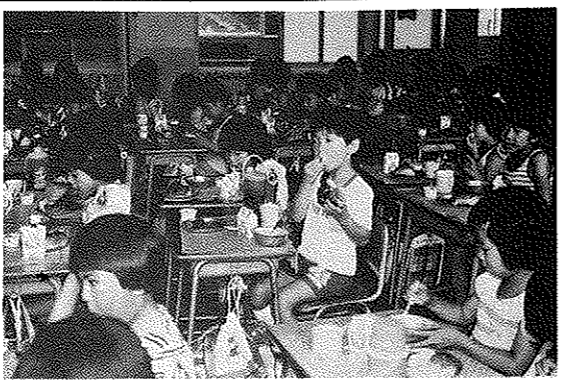
親とは本当に現金なもので、今までこの人達に頭一つ下げなかつた自分が、小学生の仲間入りをした長男を思ってか、出来る限り会釈をするようになりました。なぜもっと早く気がつかなかつたのか心の狭さを感じます。これから六年間お世話になりま

す。子供の健やかな成長を願いながら、児童のために尽力している姿を見かけましたら、せめて心の中だけでも「今日も本当にごくろうさんです」と言おうではありませんか。

初めての入学させて

別名三丁目 日高 和子
「ただいま」と同時に「今日は友達か来るのよ」という返事。カバンを降ろすかおろさないかのうちに、ベルが鳴って玄関に友達が出ています。長女でのんびり屋の娘も、今学校生活が楽しくて仕方ないようです。

幼稚園時代の遊びと違って、これからは教育を受けるといふ場面に入ってゆくわけです。子供がどんな気持ちでそれを受け入れてくるか興味がありました。割合に素直に、字を覚え、数を教えようとされています。先日ある事で父親に叱られました。そのあとでなぜ自分だけ叱られてお父様はいいのか、と問い出したのです。物事を理屈で考えることなど、これまでになかつたことです。子供は日々成長しています。親があれこれ言うよりも、親のすることを見ながら、子供の世界を大きくしています。小学校に入って三ヶ月、身体も心も知識も豊富になって、みちが



える程です。親として本当にうれしきこと。そして片寄らない調和のとれた人間になって欲しいと願っています。

給食拒否

川村 千穂

連休明け、朝食を一口すると、もどすです。風邪かしらと二日間休ませました。三日目、登校直前になって、「体が悪いから給食を残させて下さいって手紙を書いて」と言いました。入学以来、緊張していた糸が何かでプッと切れた様です。まさか大

食家の長男が、給食を拒否しようとは、登校拒否なんてどこか遠くの子供の事にしか考えていなかった私は、まごつくばかりでした。

先生に相談させていたいただいたら「学校は食べさす方針を崩さないから家の方も考えを同じにし、量を減らし一歩から始めましょう」と励ましていただきました。

ぜんぜん食べられない日が四・五日続いたある日「先生がおまじないをしてくれたら半分だけでも食べられたよ」と喜んで帰って来ました。それからはおまじないを信じ頑張って、今では米飯のチャンピオンと言われるまでになりました。

大きな壁を乗り越えた長男は、何事にも自信がついたらしく、近所のお兄さん達にまじり、汗とほほこりで真黒になって夕方遅くまで野球に夢中の毎日です。のびのびと男らしい子に育ってほしいと祈りつつ。

新米一年生

学級委員 藤本 薫

入学して、早三ヶ月になるうと校にもなれ、楽しそうに通学する我が子に、ホットしています。しかし、その反面、初めて子供を入学させ、色々な心配や、不安

があつたことも、私のいつわりない心情です。

一カ月余りしたある日、その不安が、現実になって現われました。家庭訪問の時先生が、「子供さんの給食が、遅いですよ。……それからは、毎日子供が帰って来ると「今日は、早く食べれた。」「食べれるはずでしょう。どうして食べれないの。」毎日毎日同じ事で叱られる子供も、つらかつたことでしょう。私自身、なさけない毎日でした。色々な方法を、試みましたが、いまになつても、まだ遅い日が続いている様です。

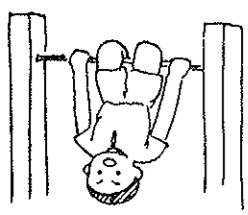
最近になって、子供は子供なりに、一生懸命なのかしら。叱りすぎているのかしら。しばらく様子を見てみようかしらと思ひ始めています。

親も、子供同様、左右、全くわからない新米一年生。先生や皆様の御指導のもとで、とにかくこの一年間、一生懸命親と子の二人三脚で歩いて行きたいと思ひます。

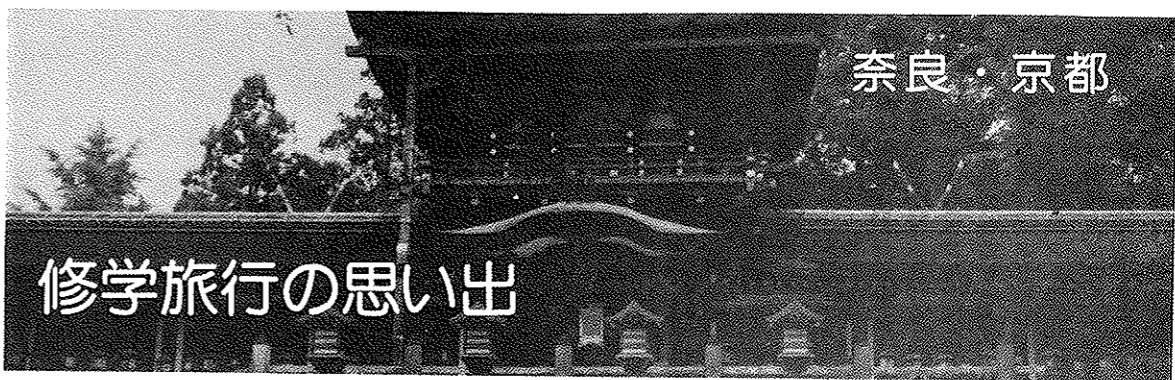
初めての一年生

羽津山町 井村奈保美

「おかあさん 行ってきます。」と、大声で かけ出す長女の後姿に、大きくなったなと しみじみ思ひます。今日も、「ただいま」とランドセルを 机



奈良・京都



修学旅行の思い出

修学旅行

岡本 典子

私は、修学旅行で、特に印象に残った、東大寺の大仏殿、二条城、旅館、清水寺、三十三間堂の五つのことを書きます。

東大寺の大仏殿の大仏は、思ったより大きくて、あんなに大きな大仏をつくった昔の人の苦勞がしのべれます。今の大仏は、初めてつくった大仏より、一メートル低いそうだが、首から下は初めてつくったときのものだそうだ。初めてつくったときのままの大きさの大仏を一度見てみたかった。

二条城は、うぐいすばりのろう下がとも印象的だった。ろう下を歩くと、うぐいすというより、ひよこという感じがした。建て物が広いので、その中を行ったり、来たりした昔の人は、とても足が丈夫だったんだろうなと思う。天じょうの絵が一へや一へやちがっていた。へき画がとても美しくかった。

旅館では、重い荷物を持って四階までぶつぶつと文句を言いながらのぼっていった。へやへ着くとみんなでお茶をたくさん飲んだ。夕食は、とてもおいしかったので、たくさん食べた。

へやでは、トランプをしたり、テレビを見たりしていた。

新京極から帰ったらすぐお風呂に入った。あまりゆっくりに入れなかった。

消燈になってもしゃべっていたので、なかなかねむれなかった。暑かったのでふとんをけとぼしてねた。

起床は、六時より早かった。目を覚ましたらみんなが起きていたので、びっくりに飛び起きた。朝食を食べて荷物の整理をしてまた重い荷物を持っておりていった。

清水寺は、くぎが一本も使われていないそう。清水のぶたいからのながめがとても美しかった。

おとわのたきの水は飲めなかったけれど、三つとも飲むとおなかをこわすと言われていたそう。

でも、また行くきかいがあつたら三つとも飲んで、おなかをこわすかどうか、ためしてみようと思つた。

最後に、三十三間堂は、千一休の仏像がまつられているそう。千一休の仏像の中には、必ず自分似ているものがあると言われていた。みながしてみただけれど、見つからなかった。仏像の手は、四十本もあるそうだが、そんなにたくさんの手をいって何に使うのか不思議だ。でも、きつと一本一本大切な役割を果たしていると思つた。

また行くきかいがあつたら、自分似ている仏像をさがしてみたと思う。

そのほか、奈良や京都には、歴史に残るいろいろな建物や旧せきもあるそう。また自分でゆっくりにたずねてみたい。

わずかに二日間の修学旅行ではあったが、バスの中の事、旅館でのこと、ふだんあまり話をすることもなかった友達との話など、本当に楽しい思い出多い修学旅行でした。

修学旅行

渡部 真紀

五月二十九日の朝、五時に目をさました。その日は、とてもよく晴れた日、私は、すぐうれしかった。元気よく学校へ向かう途中、わくわくしていた。

いよいよ出発。バスガイドさんとあいさつをし、みんなで自己紹介をした。二人で組になって、となり同士紹介し合った。

私達を乗せたバスは、奈良の街へと入っていった。奈良での最初の見学は、法隆寺だった。ここでこの昔の建物が「よくこの現在まで残っていたなあ」と感心する。国宝は、約千九百あまり。

次に見学した所は、春日大社。春日大社へ行く途中は、石どうろがずらりと並んでいた。よくこ

んなにたくさん、とうろうが、作れたなあと思う。

若草山の前の三笠屋で昼食を食べた。時間が少なかったのでゆっくりとできなかった。急いで外に並び、大仏殿へと向かって行った。東大寺の大仏は、とても大きく、片手に十人の人が乗れるほどだ。鼻の穴は、下から見ると小さく見えるが、本当は、柱がすっぽり入るくらいに大きいらしい。こんなに大きいと掃除するのが、とても大変だろう。

奈良の街とも別れ、京都の街へと入って二条城に着いた。二条城の庭園はとても広く、緑が青々としげつとでもきれいだ。池には鯉が泳いでいた。周りの柳には、白鳥が泳いでいて、とても自然のだった。こんな広い所が私の家だったら、どんなにいいだろう。でも、掃除がえらいだろうな。

一日目の見学は、これで終わり、楽しい旅館へと向かった。私達の部屋は四階の四〇六号室。とてもいい部屋で風通しのよい所だった。夕方六時半に新京極へ出発した。すぐく混雑していた。それから友達のみやげを買ったり、弟のみやげを買ったりして、お金を使いすぎて、八十円しか残らなかった。よく朝、旅館を出発するとき、「もう一日いたいな。一泊二日じやなんか物足りやんな」と話した。

今日最初に見学する所は、清水寺。清水寺は坂の上の方にあり、その道の両側にはたくさんのみやげ物屋が並んでいた。清水寺には、おしゃか様の足跡と言われる、仏足跡があつて、この足跡は、とても大きいので、びっくりにした。

次は、三十三間堂に行つた。三十三間堂には、千一休の観音様が並んでいた。私は、この観音様を見てなんかこわいような気がした。私の行きたかた金閣寺は、思ったとおりにすばらしく、庭も、すぐく広かった。金閣寺の中が見られなかったのが残念だ。

昼食は、映画村ですませた。映画村では、たつぷり時間があつたので、いろいろな所を見て回つた。雨をふらす所、お化け屋敷、アニメ館など、とても面白かった。でも、ロケーションに来ていた俳優がいなかったのが、がっかりした。一番終わりに、平安神宮に行つた。平安神宮は、朱ぬりの柱と、緑のかわらが、とてもきれいで、すぐく新しく見えた。

帰り道に比叡山ドライブウェイを通つた。楽しくあつたという間に過ぎた二日間。私は、この二日間を忘れたくない。

修学旅行

海住 勝也

ぼくたちは、五月二十九、三十



ぼくたちの心を、ゆり動かしたような気がした。

その後、春日大社を経て、若草山の三笠屋で、昼食をとり、そこで、みやげを買つた。それから、二月堂、三月堂を見学して、大鐘という鐘の下を通つた。その真下に立って、上を見上げたとき、ふ

と、「これが、落ちてきたら、どうしよう。」とか、「この鐘をたたくと、どんな音がするんだろう。」などと思つた。

そして、いよいよ、東大寺に着いた。大きな中門をくぐり、あたりを見まわすと、少し先に、大仏殿が見えた。だんだんと近づいて行き、もう一度、見上げてみるとびっくりするような、大きい建物だった。中にはいると、いきなり、大仏様の大きな手とむねが、ぼくの目の中に、飛びこんできた。その全体スケールの大きさは、目を回すほどであった。何の苦勞もなさそうに、どっしりとすわっている、大仏様、しかし、その大仏様のすがたには、千二百年もの昔の人々の苦勞がぎざみこまれている。そして、それと同時に、この建物、大仏様を造つた、人間のすばらしさを、感じさせる。

それから、バスは、京都へとむかい二条城見学の後に、旅館に着いた。旅館は、思っていたよりも大きくなりっぱだつたが部屋は、せまかった。夕飯をすませてから、新京極へ行き、ぼくは全部お金をつかってしまつた。旅館へ帰ってお風呂に入りねる用意をした。しかし、なかなかねむれなかつたが、しらない間にねむってしまった。朝、ねむい目をこすりながら、

朝食をすませ、予定より早く、旅館を出発した。清水寺、三十三間堂に行った後、金閣寺に着いた。ここは、ぼくが一番期待していた所であっただけあり、庭園の木、池、岩、こけ、そして、それらの金閣寺との調和が、大変すばらしかった。建物としては、小さいがそのすがたには、長い長い伝統がひめられていて、感激した。

次に、映画村へ、とう着し、そこで、昼食のお弁当をとり、班で映画さつえいやテレビのしくみを見学して、楽しかった。

やがて、平安神宮をおとすれ、比叡山ドライブウェイを、バスははしった。ドライブウェイの上から見る景色はすばらしく、琵琶湖や、町や村などくっきりときれいに見えた。また琵琶湖の広さにもおどろいた。その内に、琵琶湖大橋のドライブインにつき、また琵琶湖大橋の長さにびっくりした。バスの向かう方向は、四日市市へと向けられた。そして、羽津小学校へ着いた。ガイドさんとあく手し、先生とも、さよならをして家に帰った。最後の感想としては、ぼくたち二百人も生徒を、しっかりと、めんどろをみてくださった先生、そしてガイドさん、一番気をつかってくださった、バスの運転手さんに、もう一度お礼を言いたい気持ちです。

楽しかった新京極

松田 俊恵

私が一番修学旅行で心に残ったことは、新京極での買い物でした。筒井さんたちの班といっしょに買物をするようになったので、しっかりしようと思いましたが、新しくていいよ放送が入り、新京極へ買い物に行くことになりました。このときのどきどきとしたうれしさは、言葉ではいい表せないほどでした。

新京極へ着いて、とてもびっくりしたことがあります。それは人がとても多くにぎわっていたことでした。私が想像していたことは、とても人通りが少なく静かな感じで両側にお店がたくさん……という感じでした。

私は班長だから みんな仲良く無事に買物が終わらせなくてはと思い「みんな、はぐれないように気を付けようね。」と言って買物を始めました。

私が一番目について「買って良かった。」と思った物は、とてもかわいい、小さな雪だるまでした。手に取ってよく見てみるうちに、何だか私がおみつさんになったような気分になりました。そして「おみつさんもきつと、すてきなあーと思ったのだろう。」

と思いましたが。

しばらく歩いていくと、今度は本格的なおみやげ屋がありました。班の子もみんなそこでいろいろ買っていたので、私も、絵はがきと、妹へのおみやげに、おいぶくろと、京しおりを買いました。でも何しろここは、人がたくさんいて、思うように動かせませんでした。やっとなこの買物が終わると、人数を確認して、さっきのかわいい雪だるまの店へ行き、そこで、かわいい雪だるまをみんなで買いました。そして私が、その一つ買うともう売り切れてしまいました。

そして次に「いいな。」

と思ったのが、五円をついたサイフでした。これは四日市にもないだろうと思いい、ガラがじみなので、おばあちゃんのおみやげにすることにしました。

そして母に緑や黄色のししゅうの入ったサイフをおみやげに。父には福カエルを買いました。この福カエルは、二つのお守りがあって一つは、「お金を貸してもすぐカエル。」もう一つは「旅行出勤無事カエル。」で六月五日、九日まで山口へ田植えを手伝いに帰るので買いました。

「二千円をこうかいなく、うまくつかわなきゃ。」と思いいながら買おうとなかなかうまく買えませんが、自分の気になったものを買って

くどくどと百円だけのこり、こりかきなく、とても楽しく、勉強になった買物でした。

でも私の選んだ、おみやげが、みんなによるこんでもらえるか、ちょっぴり心配もありました。

そしてこの修学旅行での、新京極の買物物は、一生私の心の中に残ると思います。

修学旅行

五組 今野 裕子

修学旅行で一番楽しみだったのは二条城だった。それは、わたしたちの班で下調べをしたところだったからだ。

いちばん心に残ったことは、ろう下がうぐいすばりになっていて、歩くとうぐいすが、鳴いているように聞こえると言うことだ。

どんなしくみになっているのか不思議に思った。

「なんで、こんなにしたんだろ。」と心の中で思った。

しばらくしてから思った。

「きつとだれかがきたらすぐわかるようにだ。」

他の部屋へ行った。どの部屋もみんなきれいで広かった。わたしたちが想像していたよりとても大きくてきれいでりっぱだったのでびっくりした。

襖に、立派な絵が書いてあった。

とてもうまくて、わたしたちが本を見て書いた絵とぜんぜんくらべものにならなかった。

らん間もとてもりっぱで表とらの絵がちがうのに変に見えないのが不思議だった。

庭園も見学した。手入れがとてもよくてあってきれいだった。草もきちんとあってあってゴミもひとつもおちていなかった。

「きれいだなあよくもまあこんなにしたなあ。」

と感心することばかりだった。前にいった東大寺や東大寺の大仏さまもよかったです。それは別に二条城もとてもよかったです。

二条城を見学しおわってから旅館へ行った。

わたしたちがとまる部屋は四階で四〇七号室だった。たくさん歩いてえらかったので、

「先生だけエレベーターつかってけっちい。」とかげ口を言いながら四階まであがっていった。

部屋へ行くともとても広かったの「キヤー。」とか「わあー。」とか言って窓をあけて空をみたり下をみたりしていた。

少しして「ご飯ができた。」と放送が入ったので、食堂へいった。五組の女子は食いがはっているのか、学年で一番、はやかだった。そしてご飯を食べ終ってから新京極へ行った。それから先生の話

を少し聞いてかいたさんした。

わたしはおみやげは湯の分しか買わなかった。えん筆二本と消しゴムのセットを一組買ってあとは友達のものを買った。

ようやく買物を終えて旅館へ帰ってふろへ入ってねた。

なかなかおむねないのに一人だけねているような子がいた。

後藤さんだった。

わたしたちはねれないのにどうしてねれるんだろう。

「ねれないあ。」とだれかが言った。二時ごろまで起きていた。

わたしは二つのふとんでかおりちゃんとお田さんとねていた。

かおりちゃんとお田さんはもうぐっすりねむっていた。でもみんながさわいでいたので先生が来てしかられた。

よく日は清水寺を見学した。清水寺でいちばんよかったのは大仏さまの足あとがついた石だった。それから三十三間堂へいった。とてもたくさんのかん音さまがいてあった。そして金閣寺へ行って、映画村でご飯を食べておみやげを買ってたくさんのおみやげを遊んできた。

そして平安神宮へ行って、比叡山ドライブウェイを通して帰ると中びわ湖を見た。

とても楽しい二日間だった。

専門部だより

交通ルールを修得

部長 小井 久三

六月十九日晴天に恵まれ、四日市北警察、交通安全協会羽津支部の御協力を得て交通安全少年団とPTA安全部の共催による交通安全教室を開催しました。皆様の御協力により有意義に終了出来ました事を深く感謝致しますと共に今後共御支援の程お願い致します。

尚当日の交通安全教室の内容は一年生から四年生迄は信号機の見方と横断歩道の通過要領を一年生と三年生は校庭で、二年生と四年生は市道と県道に於てそれぞれ訓練をし、五・六年生は校庭に於て自転



整備作業のお礼

環境整備部長 森 一孝

去る六月三日、環境整備作業を実施致しました。ここに事業報告を兼ねまして、御協力いただきました方々に、お礼申し上げます。

当日には、先生方を始め、本部役員並びに、部員の方々には、早朝よりの、善意ある御奉仕。U字溝のいけ込み、プール周囲の草取り、監視台のよしず張り、又予定以外の灰ほり、排水溝の砂とり、数々の作業をして頂き、本当に、御苦労様でした。せつかくの休みを返上し、なれない仕事で、さぞおつかれになった事と思えます。

おかげ様で、今まで悩まされて来ましたが水はけの問題も解消され、又これからの水泳シーズンに先がけ、プール周辺もよくして頂き、子供達も、活発に、活動出来る事と思えます。

八月の整備作業にも、より以上の御協力をお願い致します。

給食試食会を終えて



去る五月二十九日、一年生の父兄を対象に給食試食会を開催致しましたところ、百二十九名という多数の方々に参加されました。当日は三輪栄養士さんをお招きし、給食に関する有意義なお話を賜り、その後試食会にうっとりアンケートをとらせて戴きましたが、その結果を左記に報告させていただきます。

1. 参加者 129名(1年生保護者)
2. 当日の献立

食パン	牛乳	おきあみボール	カレーペースト	サンド
コーン	バター	ジュ		

3. 給食試食会アンケートのまとめ

本日の試食について	1. 本日の給食はいかがでしたか(全体として)		2. 味付けについて	
	イ、たいへんおいしかった	27	ロ、おいしかった	80
3. 分量について	パン		副食	
	イ、ちょうどよい	92	イ、ちょうどよい	107
	ロ、多すぎる	36	ロ、多すぎる	11
4. 献立表について	ハ、少ない	0	ハ、少ない	7
	イ、いつもよく見ている			
	ロ、時々見る			
5. 米飯給食について	ハ、あまり見ない			
	イ、子どもがよろこんでいる			
	ロ、普通			
6. その他給食についてのご意見	ハ、パンの方がよい			
	別記			

その他 次の様な給食についてのご意見がありました。

- ◎よくにた献立ではなく、野菜を多くとり入れ、くだものをつけるなど、もう少し目先を変えてバラエティに富んだものにしてほしい。
- ◎牛乳が薄く、容器が不安定。
- ◎米飯給食の回数をふやしてほしい。
- ◎お茶がまずい。
- ◎パンの質を良くしてほしい。
- ◎食器をもう少し良質のものにして、献立によってお箸を持参させ、先割れスプーンと併用させてほしい。
- ◎給食時間が短かく、食べる量は個人差があるので、全部食べることを強制するのではなく、半強制的ぐらいにしてほしい。
- ◎好き、きらいの指導は徐々に仕向けていってほしい。
- ◎薬品添加物の少ない食品を選んでほしい。

以上のような結果でした。

尚、この給食試食会に関して、多数の御父兄の御協力をいただき、ありがとうございましたことをこの紙面をおかりして御礼申し上げますと共に今後共母親部、福祉保健部に一層の御協力と御理解をいただきますようお願い致します。

料理教室



料理教室に参加して

母親部 河瀬百合子

六月二十二日、午前九時半より母親部主催の料理教室が、五十名の参加者を得て、催されました。今回は夏に向かった「お弁当のおかず」ということで、家庭を問わず主婦にとっても、御主人や中学、高校の発育盛りのお子様毎日の弁当には、腐り易い夏に向かって、安くて、栄養豊富、且つ長持の食物を考えなくては、いけません。しかし、家を離れて離れた場所で戴く「弁当」の味は、母親の暖かさ、所謂、「おふくろの味」を感じさせてくれます。

1. ライスコロケ
2. ごまやき
3. きゅうりの梅おかつけ
4. かしわ梅酒肴
5. とり肉ごぼう巻

一グループ八名位に分かれ、一時間程で、賑やかで、楽しく、献立の品が出来上りました。ライスコロケは、ジャコと御飯を混ぜ、俵型に握り、小麦粉、玉子、パン粉をつけ、サラダ油で揚げるのです。残り御飯を、我家で

は、チャーハンにすることが多いのですが、ジャコその他に、チャーハンに入れる具を混ぜ、コロケにしたらどうだろうと、又一つ新しい献立がふえ、喜んでいきます。次に2・4・5の、とり肉をつかった料理は、牛豚肉に比べ、薄味の感がします。それだけに、酒、酢、梅酒、シウウガ、青しそ等の香りの良い、ピリッとした味が夏には必要といえます。我家では、教室で使った分量より、もう少し香辛料を多く使いたいと思いました。

料理に対する私考

別名2 小平 容子

何と不埒なと、お叱りを受けるかも知れないが、料理教室に参加させて頂いて、一番強く印象に残った事は、席を異にしたが大好きな友が嬉しそうに、大きな口を開けてパクリと食べる様である。偶然、同班になった親友とそれを

眺めながら、私達まで幸せいだった。手料理への熱情がわいてくるのは、こういう時なのです。先生のお話の大勢は添加物の事でしたが、本当に空気が水が、食物が汚染されてゆく日常生活の中で、人工の毒性が染みこんでいる物を捜すのは、大変なことなのです。誰もがひどく影響しないだろうな、と希望的に不安をごまかしている時だと思ふと、文明を拒否したい気さえ起ってきます。

品物が豊富にあるわりに、喜びに備える物が少ないし、最近の食物の求め方は、甘い物がほしいという欲しがりかたではなく、おいしいものなら味わいたいという欲求指向(私の造語)なのです。

それでも食して嬉しい様な物があればいいけど、そうでなければ自分で作る方が悲しくならずには事度々あります。よい材料があれば、食べさせたい気持が起るし今のひとかたけの食事をなおざりにするか、心熱くすすすかは自分の気の持ちようだと感じます。人の一生は時間で成り立っているのだから、その時間を生きる私達は、ちょっとときどきですが、心に感動を持って生きてゆくために、素人の手料理を心をこめて作りた

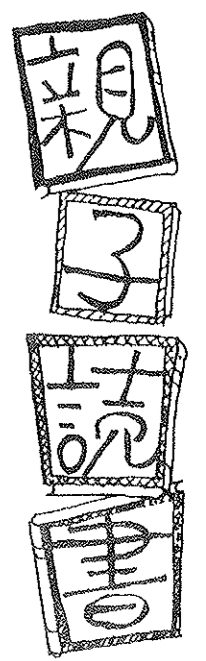
いと思ひます。これから食べられる野草

暮らしの歳時記

夏の来客のもてなし

さわやかに、涼しく迎えます。部屋を涼しくするだけでなく、座蒲団も風をあてて冷んやりさせ、おしぼりもラップにくるんで、冷蔵庫で冷やしておきます。飲み物は、ジュースや炭酸飲料水より、麦茶などお茶のよく冷えたものが、喉のかわきをいやします。また逆に、熱いおしぼり、熱いお茶も喜ばれます。年輩の方は「クール」より「ホット」で迎えるなど、好みを考えてちょっとした心づかいを……。





親子が一冊の本をおして心をかよわせ合う……子どもを本に親しませる親子読書が、いま各地でひとつの運動になってきています。読書を長つづきさせ、効果をあげるには親の考え方が大事。親子読書をすすめている人、これからはじめようとする人のために、五つのポイントをあげてみました。

☆きっかけをうまくつかむ
「さあ、読書しましょう。」
「ほら、テレビをやめて準備を。」
などと、お母さんがまるで先生にでもなったような態度で声をかけても、子どものほうは、なかなか腰をあげようとしないということをよく聞きます。やはり読書にも、きっかけが必要なのです。

とくに、それまで本を読む癖がついていなくて、読書するおもしろ味を知らない子どもならなおさら、お母さんの好意を、ありがた迷惑だと思っているのかもしれないのです。日常生活の中で、子どもがとくに興味をもっていることをみつければ、親子の共通のテーマとして題材を選び、ふだんの会話の延長のような気持ちでいっしょに本を読み合うという方法が、一番自然なようです。

たとえば、夏休みは、子どもが植物や昆虫、星などに親しむ機会です。
「この草なんの草？」「不思議な虫、みつけたよ」
戸外からかけこんでくる子どもの疑問には積極的に答えてやりたいもの。もし、お母さんにもわからず、家に木がないという場合、ちょっと時間がかかりますが、図書館へ足を運んでみては。たとえバスにゆられていくことになっても、調べる楽しさを知らせることは、大きなプラス。そこで手ははじめに、科学読みものから読みはじめるといいう方法も。

☆読書は一日のいつが効果的？
なにごとにも計画をたてて、きちんとやるということ、もちろんいいことなのですが、読書は勉強とちがって、精神的で知的な遊び。

「この草なんの草？」
「不思議な虫、みつけたよ」
戸外からかけこんでくる子どもの疑問には積極的に答えてやりたいもの。

親子も、一番ゆったりできる時間をえらんで、無理なくやりましょう。
とくに、遊びがりの小学校中、高学年になれば、友だちが誘ってくるあいだはだめ、朝の十時前か、就寝前の三十分ぐらいを上手に使うのがいいようです。
また、やり方も、いつもお母さんが読んで、子どもが聞くというだけでなく、たまには、子どもに読ませて、お母さんが聞くという方法も。

- ☆必ず失敗する例
- ①お母さんが、いっしょに楽しむのではなく、教える、読んであげよう、という態度で、いるとき。
 - ②選んだ本が、子どもの関心、能力に合っていないとき。(本を選ぶときお母さんは、必ずといってよいほど、自分の子どもの実力より、水準の高いものを選びがち。ちょっと無理かな、という本より、やさしすぎるかな、という程度の本を。)
 - ③国語の実力をつけたいから、本を読むくせをつけて、勉強を好きにさせたいから、こんな下心が、お母さんにあるとき。
- ☆まわりのお母さんと協力を
家庭内での親子読書が成功させるためにも、地域のお母さんとの協力は大変、やりたいなあと思っっているお母さんが、三人集まればサークルがつくれます。
たとえば、PTAの仲間と、団地のバス停でよく顔を合わせる人たちと、おふる屋さんでの顔見知りの人と、話し合って、はじめてみては。
あらかじめ、読む本をきめ、月に一回例会をひらく時間と場所を決めることができれば、なおよいのです。

黒人少年のスケが助け出しました。
素材の木版画が、アフリカの草原に吹く風のさわやかさを伝えるくる絵本です。
（評論社）

生命のふしぎ、生きる力のすばらしさ、かすかな音もききわける大きな耳とばねのある足をつかって日本中の野山を駆けまわるのうさぎの四季。
伊藤 政頭 文
滝波 明生 絵
（小学館）

おおかあさん だいっきらい
母親のゆきすぎた干渉で親友のたかし君との仲をさかれたちかちゃん、心を固くとした。1母の想いとすれちがう少女のみちたりの心を描きます。
（童心社）

さよならは半分だけ
1 青葉学園物語
吉本直志郎 作
さんさんと輝く太陽の下で、底ぬけに明るく生活する青葉学園の子どもたちの夏休みを、ユーモアとベロニスをおりまぜてさわやかに描いた感動の物語。
（ポプラ社）

○くさいのマフラー
後藤 竜二 文
岡野 和 絵
コウくんは一年生。出かけにくいお母さんが編んでくれたマフラーを北風がもって行ってしまいました。北海道の海を背景に描く詩情あふれる絵本です。
（草土文化）

○ちびぞうトト
D・モスキン 文
R・ネグリ 絵
おの かずこ 訳
ワナにかかった子ぞうのトトを

前田三恵子 訳
恐ろしい荒野にすてられた子ネコが、洪水、火事、飢えなど敵しい自然とたたかって生きぬくさまから動物のもつ運命的な悲しい最後までえがく胸うつ話。
（文研出版）
川は生きている
1 自然と人間
高山 和子 著
川の歴史や現状を、また、水と緑と土の深いかわりあいを私たちが日本人の生活と関係づけていくつかの具体例をひき、やさしく解説しています。
（講談社）



ごぞんじですか スポーツ少年団

現在 羽津スポーツ少年団は、剣道 サッカー 野球が活躍中、暑い中、子供達は毎日汗を流して練習にはげんでおります。「しでがの」をお借りしてご紹介致します。

人間作りを柱に
剣道部保護者会会長 九鬼 映美

羽津少年団育成会剣道部は、産声をあげて二年目を迎え、これから一層充実させるべき時に愚鈍な私が会長に選ばれ、この大役を果せることができそうもありませんが、優能な役員さんや保護者の皆様のお力添えをいただき、剣道部発展の為に微力ながら務めさせて頂きますので、よろしくご願ひ申し上げます。

つきまして剣道そのものは、武士道より初められ、男子の不屈の

精神を養うを目的としたものでしたが、今では人間づくり、すなわち立派な人格の持主になるよう、子供の時からすべてのことにくじけない人としての道にはずれず、強健な身体を作るを目的としていきたいと思えます。現代の子供はやゝもすると不良に走る場合が多く、親としても油断のならない社会状況になっていきます。こんな時、剣道の精神を植え付けて、羽津地区にはそのような子供は一人もいないと言えるような明るく子供らしい気持ちの子を育てたいと思っておりますから、みなさん御

協力下さい。そして良い剣道部を作りましょう。

五十四年度活動予定

六月 春季進級試験

中日剣道大会

七月 他の少年団との親善試合

八月 親睦ハイキング(行先未定)

九月 第二回四日市少年大会

十月 秋季進級試験

第五回朝日町剣道大会

十一月 川越町剣道大会

十二月 羽津剣道大会

一月 初げいこ

(皆で暖かいぜんざい)

三月 少年団合同お別れ会

剣道部お別れ会

(ゲーム、カレー、おでん)

※四年生以上(男・女)児童の皆さん、一人でも多くの入団を、お待ちしております。明日からでも、友達と一緒に練習しませんか?

県大会出場をめざして

野球部保護者会会長

藤井 薫

五十四年度スポーツ少年団野球部保護者会会長という大役を命ぜられ責任を感じている次第です。

平素はスポーツ少年団野球部に對し絶大なる御支援を戴き感謝致して居ります。「しでの」の紙面を拜借して心よりお礼申し上げます。

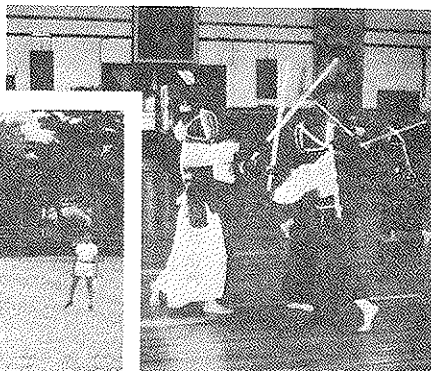
今年も昨

年の様に県大会を目前に控え野球部部員一同張切って練習をして居

ります。羽津の伝統を引継ぎ今年も県大会出場の可能性大であります。

来る七月第一日曜と第二日曜には三泗地区優勝をめざして県大会に出場とがんばって居ります。皆様も是非応援をお願い致します。

過去の成績は次の通りです。春の大会Aチーム優勝 夏の大会去る五月十三日照石グ



ランドに於いて対塩浜、対笹川戦に共に勝ち進んでおりますが、この「しでの」が皆様方のお手元にとどく頃は三泗地区の優勝が決まる頃と思います。

羽津地区の皆様の一人数も多く御声援をお願い致します。

人間育成、体力増強

サッカー部保護者会会長

藤井 泰

昨年結成されたサッカー部は、四月より二年目の活動に入っています。本年の主な活動計画は、四月より四日市サッカー少年団前期のリーグ戦が、はじまりましたが当サッカー部は六年生を主体にした選手構成で一部リーグに出場しました。

今後の主な行事として八月に強化合宿、九月からは後期のリーグ戦がはじまりますが、後期は五年生以下を主体にした二部リーグにも参加します。従って後期は二チーム参加します。このリーグ戦出場以外にも四日市サッカー少年団主催の色々な行事が計画されていますが、可能なかぎり出場します。

このように色々な試合に出場する為に、荒木監督、佐藤コーチの

熱意ある指導のもとに週三回の練習をしています。

サッカー部は、人間育成、体力増強を目標の一つとしていますがその成果は大いにあがっています。サッカーをやってよかったと思える子供になってほしいものです。サッカー部は、新入部員を募集しています。四年生以上の生徒の多くの入部をお待ちしています。

で
す
く
さい
ど

暑中お見舞申し上げます。本格的な夏の訪れ、子供達にとって待ちにまった夏休み。親子のふれあいを大切に、時には心と体の日光浴を。自然を大切にすることを育てるのにもいい機会。健康に気をつけて思い出多き夏休みになりますように、部員一同祈っています。

